

2024 年 4 月 4 日
日本新薬株式会社
広 報 部

各 位

中枢神経疾患領域における「MiNA Therapeutics」との研究提携のお知らせ

日本新薬株式会社（本社：京都市南区、代表取締役社長：中井 亨、以下「当社」）は、このたび、MiNA Therapeutics（以下「MiNA 社」、本社：イギリス ロンドン、最高経営責任者：Robert Habib）と中枢神経疾患領域の難病・希少疾患への適応が期待できる核酸医薬の創製を目的として、研究提携契約を締結したことをお知らせします。

今回の契約締結により、当社は MiNA 社より独自の小分子活性化 RNA (small activating RNA: RNAa)、すなわち標的となる遺伝子の転写を上昇させる核酸の創製技術を用いて作製した核酸配列の提供を受けます。当社は、MiNA 社に、契約一時金および研究開発の進捗に伴うマイルストーンを支払い、提携から生まれた医薬候補品を独占的に研究開発するためのオプションを行使することができます。また、オプション行使後は、開発の進捗や製品上市後の売上げに応じたマイルストーンおよびロイヤリティを支払います。

当社は難病・希少疾患を注力領域として位置づけており、日本および米国において、自社開発のデュシェンヌ型筋ジストロフィー治療剤ビルテプソ[®]（核酸医薬品）を自社販売しています。MiNA 社との研究提携を通じて、中枢神経領域においても核酸医薬の技術を応用し、難病・希少疾患でお困りの患者さんに新たな医薬品を一日でも早くお届けできるよう、今後も一層の努力を続けていきます。

小分子活性化 RNA (RNAa) について

RNAa は二本鎖の RNA であり、標的遺伝子のゲノム配列近傍に結合し、染色体構造を緩めて転写活性化因子を動員することで標的遺伝子の転写を活性化させます。様々な遺伝子において RNAa による活性化が確認されており、一般的に 1.2～15 倍の遺伝子発現上昇が得られているとされています。このような性質から、機能喪失型遺伝子疾患の新たな治療薬になると考えられています。

MiNA 社について

MiNA 社は、RNAa 開発の世界的リーダーです。RNAa 治療薬は、遺伝子活性化の生来のメカニズムを利用して遺伝子の正常な機能を回復または増強し、それによって細胞内のタンパク質調節経路を回復または増強できる革新的な新しいクラスの医薬品です。同社は、遺伝子に基づく治療に焦点を当てた独自の医薬パイプラインを進展させている一方、大手製薬会社と協力して自社の技術プラットフォームを他の幅広い治療分野に適用しています。MiNA 社は独自の RNA 活性化技術を基に、RNA 医薬品の可能性を広げ続けます。詳しくは、www.minatx.com をご覧ください。

以上